

## 2025 年度第 1 回東北地理学会研究集会

### 「竹林をめぐる地域社会・地理学・学校教育の連携」

執筆者：西城 潔

参加者：34 名

本文：里山利用が衰退して数十年が経過した現在、西日本～関東地方を中心に竹林が拡大し、「放置竹林問題」と称される事態が出現している。将来的には、温暖化や農村地域の変化を背景に東北地方以北でも同様の現象が顕在化することも予想される。一方で、こうした竹林問題への対応として、竹のイノベーション的活用やバイオ炭としての利用、国産タケノコによるメンマ作り等の取り組みも各地で試みられている。

本研究集会は、こうした状況下での地域社会・地理学・学校教育の連携のあり方を検討することを目的に、会員の西城 潔（宮城教育大学）・庄子 元（東北学院大学）が企画したものである。開催日時は 2025 年 12 月 13 日（土）13:00-17:00、東北学院大学土樋キャンパスホーイ記念館 H302 教室を会場に開催された。プログラムは以下の通りで、教員・行政・民間企業・資料館・農家等、多彩な分野から 34 名の参加者があった（うち主催者側 12 名）。